#### Environmental Data File

# エコデータファイル 2019

- 1. 原材料
- 2. エネルギー
- 3. 水
- 4. 化学物質
- 5. 大気への排出
- 6. 排水および廃棄物
- 7. 環境マネジメント
- 8. 環境会計
- 9. 環境データ算出方法
- 10. GRIスタンダード (2016) 環境項目対照表



# 1. 原材料

#### 1.1 使用原材料(東海理化)

単位:t

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	樹脂	4,397	7,019	6,393	4,527	4,898
再生可能	金属	15,218	13,407	13,378	13,249	14,752
原材料	ガラス	17	28	18	15	2
	合計	19,632	20,453	19,789	17,790	19,652
<b>=</b> 4-7-7	樹脂	589	436	393	381	368
再生不可 原材料	その他	6	6	5	1	3
PPUPM	合計	595	442	398	382	371
合計		20,227	20,895	20,187	18,172	20,023

#### 1.2 輸送に伴う梱包・包装資材使用量(東海理化)

単位:t

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
梱包·包装資材使用量	1,413	1,294	1,260	1,234	1,409

#### 1.3 リサイクル材使用量(東海理化)

単位:t

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
リサイクル材使用量	1,149	1,020	1,041	1,062	1,006
原材料におけるリサイクル材使用量の割合	5.7%	4.9%	5.2%	5.8%	4.9%

# 2. エネルギー

#### 2.1 地域別 エネルギー消費量

単位:GJ

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
東海理化	655,881	620,579	630,273	526,908	531,544
国内子会社	100,855	91,857	92,045	84,949	100,105
海外拠点	570,512	588,823	605,373	617,587	656,722
合計 (東海理化グループ)	1,327,247	1,301,259	1,327,691	1,229,443	1,288,371

#### 2.2 種類別 エネルギー消費量(東海理化グループ)

単位:GJ

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	電力	697,564	722,094	753,869	811,928	815,985
	都市ガス	445,209	403,180	409,658	244,447	233,931
	天然ガス	90,110	94,001	85,927	98,368	129,754
	LPG	63,953	52,741	51,589	49,964	58,578
燃料	ブタンガス	5,868	5,642	5,279	7,725	6,993
766年	重油	3,616	4,278	4,010	51	636
	灯油	30	11	11	0	0
	ガソリン	1,387	1	1,173	1,142	1,176
	軽油	4,758	2,368	5,798	1,647	2,145
	蒸気	14,136	16,316	9,743	13,274	16,820
Ī	再生可能エネルギー	616	627	635	895	22,355
合計		1,327,247	1,301,259	1,327,691	1,229,443	1,288,371

#### 2.3 エネルギー原単位

単位:GJ/億円(内製加工高)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
東海理化	748	713	693	565	537
東海理化グループ	862	806	791	745	727

#### 2.4 省エネ活動によるエネルギー消費量の低減効果

単位:GJ

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
東海理化	51,342	30,596	17,413	119,568	28,171	
東海理化グループ	131,965	91,127	24,962	76,075	31,756	

## 3. 水

#### 3.1 取水量

単位:千㎡

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
水道水	233	220	223	250	217	
東海理化	工業用水	94	101	99	103	119
宋海连儿	地下水	208	208	199	200	197
	合計	535	529	521	553	533
	東海理化グループ	1,003	1,010	1,030	1,105	986

#### 3.2 水消費量

単位:千㎡

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
東海理化	37	27	27	111	49
東海理化グループ	108	116	141	250	145

#### 3.3 水の再利用(東海理化)

単位:千㎡

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
再利用量	22	24	23	25	24
取水量に占める再利用量の割合	4.0%	4.6%	4.4%	4.5%	4.6%

## 4. 化学物質

#### 4.1 VOC排出量(東海理化)

単位:t

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
イソプロピルアルコール	12.7	14	13.8	10.8	11.3
酢酸エチル	8.8	10.2	7.4	10.1	10.0
酢酸ブチル	4.5	6.0	3.9	4.8	4.9
メチルシクロヘキサン	9.6	11.4	8.8	10.0	8.9
酢酸イソブチル	9.1	9.4	6.3	9.9	5.6
ケロシン	9.5	9.3	8.8	8.1	5.9
エチルベンゼン	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1
キシレン	0.7	0.5	0.3	0.4	0.3
トルエン	4.3	3.2	2.0	2.7	3.0
その他 (PRTR対象外含む)	26.3	25.3	21.6	24.8	33.4
合計	85.9	89.5	73.0	81.7	83.4

#### 4.2 PRTR排出量(東海理化)

単位:kg

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
本社工場	トルエン	1,033	1,219	1,112	1,203	861
	亜鉛の水溶性化合物	15	95	12	23	18
	塩化第二鉄	41	34	33	33	35
豊田工場	クロム及び3価クロム化合物	7	6	6	6	12
	銅水溶性塩	3	4	2	2	2
	ニッケル化合物	9	9	8	8	8
	エチルベンゼン	428	184	130	144	86
音羽工場	キシレン	594	67	220	313	221
	トルエン	3,251	1,888	892	1,455	2,104
	合計	5,381	3,506	2,415	3,187	3,347

## 5. 大気への排出

#### 5.1 CO2サプライチェーン排出量(東海理化グループ)

単位:t-CO2

002,,,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- /				+₩ 0
		2013年度 (基準年)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
SCOPE1	東海理化自らによる直接排出	134,115	90,577	110,319	107,782	94,630
SCOPET	基準年に対する増減		-32%	-18%	-20%	-29%
SCOPE2	他社からの電気等の供給に伴う間接排出	95,811	94,090	100,960	115,417	117,098
SCOPEZ	基準年に対する増減		-2%	5%	20%	22%
SCOPE3	事業活動に関連する他社の排出量	397,407	398,420	413,573	411,475	412,897
	基準年に対する増減		0%	4%	4%	4%
CATEGORY1	購入した製品・サービス	250,254	237,942	260,235	250,817	227,586
CATEGORY2	資本材	83,145	76,935	67,275	69,213	87,032
CATEGORY3	SCOPE1,2に含まれない燃料	6,500	6,784	7,000	7,421	8,485
CATEGORY4	輸送・配送 (上流)	42,794	43,322	42,406	45,580	51,450
CATEGORY5	事業から出る廃棄物	1,617	1,561	2,437	2,218	2,308
CATEGORY6	社員の出張	6,646	6,747	7,009	6,863	5,187
CATEGORY7	社員の通勤	19,506	19,878	22,010	24,506	25,713
CATEGORY9	輸送・配送 (下流)	5,442	5,250	5,201	4,858	5,136
	合計	627,333	583,086	624,852	634,674	624,625
CATEGORIS		,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		,	

単位:t-CO2 5.2 エネルギー起源CO2排出量

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	本社	4,538	4,703	4,920	5,218	5,144
	本社工場	10,869	10,853	10,894	10,748	10,923
東海理化	豊田工場	6,469	6,100	6,501	6,159	6,863
	音羽·萩工場	22,022	20,649	20,995	19,764	19,931
	合計	43,898	42,304	43,310	41,889	42,861
東海理化グループ		127,829	129,667	134,020	134,776	141,522

#### 5.3 エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量原単位(内製加工高当たり)

単位:t-CO<sub>2</sub>/億円

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
東海理化	50.1	48.6	47.7	44.9	43.3
東海理化グループ	92.4	91.4	90.2	88.7	85.4

#### 5.4 輸送に伴うCO2排出量(東海理化)

単位:t-CO2

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
排出量	3,055	2,954	2,843	2,776	2,936
	1.27	1.28	1.25	1.17	1.15

#### 5.5 温室効果ガス (5ガス) 排出量

単位:t-CO2

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	HFCs	76	76	75	59	76
	SF <sub>6</sub>	7,475	3,011	3,119	1,344	1,022
東海理化	PFCs	1,550	1,845	1,612	1,448	1,494
	N <sub>2</sub> O	3	2	3	2	3
	合計	9,103	4,934	4,809	2,853	2,595
海外拠点	SF <sub>6</sub>	78,685	60,035	81,942	82,460	70,013

#### 5.6 大気排出 測定データ

ばいじん(単位:g/Nm)、NOx(単位:ppm)、SOx(単位:Nm/H)

			規制値	制値自主基準値	最大値		
			規利但 日土基华但	2016年度	2017年度	2018年度	
	ばいじん	ボイラー	0.1	0.8	0.003	0.003	0.002
		コジェネ	0.05	0.04	0.004	0.024	0.004
+4-7-10	NOx	ボイラー	150	120	63	94	58
本社工場		コジェネ	600	480	140	140	200
	SOx	ボイラー	0.24	0.19	0.004	0.005	0.004
		コジェネ	5.45	4.36	0.001	0.001	0.001
	ばいじん	ボイラー	0.1	0.08	0.003	0.003	0.003
豊田工場	NOx	ボイラー	150	120	35	38	28
	SOx	ボイラー	1.6	1.28	0.001	0.001	0.001
	ばいじん	ボイラー	0.1	0.8	0.005	0.006	0.005
音羽工場	NOx	ボイラー	150	120	68	61	60
	SOx	ボイラー	1.7	1.36	0.004	0.004	0.003

# 6. 排水および廃棄物

6.1 排水量 単位:千㎡

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
東海理化	河川	373	375	370	372	392
	下水道	204	170	139	92	110
	合計	577	545	509	464	502
東海理化グループ		946	908	905	878	859

		規制値 ( )は日間平均	自主基準値	2016	最大値	2015
	На	5.8~8.6	6.0~8.3	2016年度 7.6	2017年度 7.4	2018年度 7.5
	BOD	25 (20)	8.0~8.3 20	8.3	7.4	4.1
	COD	23 (20)	-	4.3	5.5	8.2
	SS	30 (20)	20	13	12	0.2
	n-Hex	2	1.6	0.6	0.6	<0.5
	銅	1	0.8	0.04	0.05	0.04
	亜鉛	2	1.6	0.1	0.15	0.12
	溶解性鉄	10	8	N.D.	N.D.	N.D
	全クロム	2	1.6	N.D.	N.D.	N.D
土工場	大腸菌群数	(3,000)	2400	N.D.	N.D.	N.D
	全窒素	120 (60)	60	6.9	6.9	9.6
	全リン	16 (8)	8	0.8	0.73	0.2
	鉛	0.1	0.08	N.D.	N.D.	N.D
	6価クロム	0.5	0.4	N.D.	N.D.	N.D
	ヒ素	0.1	0.08	N.D.	N.D.	N.D
	フッ素	8	6.4	1	2	1.2
	1,4-ジオキサン	0.5	0.4	N.D.	N.D.	N.D
	アンモニア、アンモニウム化合物、	100	80	3.4	0.15	3.95
_	亜硝酸化合物、硝酸化合物					
	На	5.8~8.6	6.0~8.3	7.4	7.1	7.4
	BOD	15 —	12	3.9	3.2	3.8
	COD SS	15	12	6.8	9.1 7	6.7
	n-Hex	4	3.2	< 0.5	<0.5	<0.5
	フェノール類	2.5	2	<0.03	0.034	0.025
	銅	0.6	0.48	0.03	0.034	0.02
	亜鉛	2	1.6	0.2	0.63	0.26
	溶解性鉄	2.5	2	<0.1	<0.1	<0.1
	溶解性マンガン	2.5	2	<0.1	<0.1	<0.1
田工場	全クロム	1	0.8	< 0.04	< 0.04	< 0.04
	大腸菌群数	(3,000)	2,400	N.D.	N.D.	N.D
	全窒素	60	48	19	19	15
	全リン	8	6.4	0.2	0.18	0.53
	鉛	0.05	0.04	< 0.005	< 0.005	< 0.005
	6価クロム	0.3	0.24	< 0.04	< 0.04	< 0.04
	ホウ素	10	8	2.6	2.1	3.1
	フッ素	8	6.4	1.1	1.1	1.6
	アンモニア、アンモニウム化合物、	60	48	15	15	12
	亜硝酸化合物、硝酸化合物					
	pH DOB	5.8~8.6 25 (20)	6.0~8.3	7.6 8.9	7.6 7.3	7.5 5.8
	COD	23 (20)	20	6.5	6	7.8
	SS	70 (50)	56	10	4	7.6
	n-Hex	70 (30)	4	<1	<1	<1
	銅	1	0.8	<0.01	<0.01	<0.01
	亜鉛	2	1.6	0.2	0.14	0.2
	溶解性鉄	10	8	0.1	<0.1	0.1
	溶解性マンガン	10	8	0.3	0.2	0.3
2-18	全クロム	2	1.6	< 0.04	< 0.04	< 0.04
习工場	大腸菌群数	(3,000)	2,400	650	370	580
	全窒素	120 (60)	96	2	1.8	2.1
	全リン	16 (8)	12.8	0.03	0.04	0.12
	鉛	0.1	0.08	< 0.01	< 0.01	< 0.0
	6価クロム	0.5	0.4	< 0.04	< 0.04	< 0.04
	総水銀	0.005	0.004	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
	ホウ素	10	8	<0.1	<0.1	<0.
	フッ素	8	6.4	<0.1	<0.1	< 0.1
	アンモニア、アンモニウム化合物、	100	80	2	0.9	1.6
	亜硝酸化合物、硝酸化合物	E 0 - 0 6	61.02	7.0	0.7	7.4
	pH DOB	5.8~8.6 25 (20)	6.1~8.3 20	7.8 2.9	8.2 8.4	7.6
	COD	25 (20)	20	8.3	9.7	7.4
	SS	30 (20)	24	5	9.7	7.2
	n-Hex	2	1.6	<0.5	<0.5	<0.5
	銅	1	0.8	0.02	0.02	<0.01
	亜鉛	2	1.6	0.14	0.13	0.06
	溶解性鉄	10	8	0.3	<0.1	<0.1
	溶解性マンガン	10	8	<0.1	<0.1	<0.1
T +5	全クロム	2	1.6	<0.04	<0.04	<0.04
工場	大腸菌群数	(3,000)	2,400	230	350	450
	全窒素	120 (60)	96	6.4	20	3.7
	全リン	16 (8)	12.8	0.03	0.07	0.08
	鉛	0.1	0.08	<0.01	<0.01	< 0.01
	6価クロム	0.5	0.4	<0.04	<0.04	<0.04
	総水銀	0.005	0.004	<0.0005	<0.0005	< 0.0005
				<0.1		
	ホウ素	10	8	<b>\0.1</b>	<0.1	<0.1
	ホウ素 フッ素	8	6.4	<0.1	<0.1	<0.1 <0.1

6.3 廃棄物(東海理化) 単位:t

			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		リサイクル	14	20	28	21	25
	排出量	焼却	24	86	33	32	13
有害		PCB	3.7	28	0.0	0.1	2
	保管量	PCB	31	2	2	2	0.3
		合計	72	137	64	55	41
		リサイクル	9,802	9,378	9,134	9,443	10,270
非有害	排出量	焼却	543	489	708	660	710
非用音		埋め立て	0.5	0.4	0.6	0.5	0.5
	合計		10,345	9,867	9,842	10,104	10,980
	合計		10,417	10,004	9,906	10,159	11,021

## 7. 環境マネジメント

#### 7.1 環境法規制の違反(東海理化)

単位:件

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
違反件数(法基準・協定値超過含む)	0	0	0	0	0
苦情件数	0	0	0	0	0

#### 7.2 騒音・振動 測定データ (東海理化)

単位:dB

		規制値	最大値				
		<b>規利</b> 但	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
本社工場	騒音(昼)	70	65	62	62	62	
	振動(昼)	70	48	48	41	34	
豊田工場	騒音(昼)	75	70	71	67	71	
豆田上物	振動(昼)	75	53	51	47	51	
音羽工場	騒音(昼)	70	63	63	62	62	
日初上场	振動(昼)	70	53	53	42	42	
萩工場	騒音 (昼)	75	58	54	59	58	
	振動(昼)	75	65	57	59	65	

#### 7.3 地下水 測定データ(東海理化)

単位:mg/L

		規制値	最大値				
		規利但	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	トリクロロエチレン	0.03	0.002	0.002	0.002	0.002	
本社工場	1,1-ジクロロエチレン	0.02	0.002	0.002	0.002	0.002	
	シスー1,2ージクロロエチレン	0.04	0.01	0.007	0.007	0.006	
	トリクロロエチレン	0.03	108	99.2	20.1	12.4	
豊田工場	1,1-ジクロロエチレン	0.02	0.039	0.035	0.028	0.087	
	シスー1,2ージクロロエチレン	0.04	11.1	17	5.21	18.4	
	トリクロロエチレン	0.03	0.041	0.039	0.028	0.016	
音羽工場	1,1-ジクロロエチレン	0.02	0.006	0.003	0.005	0.007	
	シスー1,2ージクロロエチレン	0.04	0.086	0.074	0.065	0.042	
100-700-410-4m	トリクロロエチレン	0.03	0.014	0.002	0.002	0.002	
旧西枇杷工場	1,1-ジクロロエチレン	0.02	0.005	0.002	0.002	0.002	
上場	シスー1,2ージクロロエチレン	0.04	1	0.309	0.004	0.004	

※豊田、音羽工場はトリクロロエチレン及び分解生成中による汚染があり、揚水浄化を継続中

## 8. 環境会計

#### 8.1 環境保全コスト(東海理化)

単位:百万円

	主な取組み内容	2017年度		2018年度	
	土/み収配の内台		費用	投資額	費用
	公害防止:公害(大気、水質、騒音等) 防止のためのコスト	1	264	2	270
事業エリア内コスト	地球環境保全:温暖化防止に要したコスト	133	464	243	480
	資源循環:廃棄物処理、廃棄物減量化、リサイクルのためのコスト	0	165	3	179
上・下流コスト	環境負荷の少ない製品、燃料および原材料等の購入に伴い発生した差額	0	23	0	23
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの構築・運用、環境負荷の監視、事業活動に伴う自然保護・緑化のためのコスト	0	177	0	189
研究開発コスト	環境保全に資する製品等の研究開発に要したコスト	0	424	0	385
社会活動コスト	事業所を除く自然保護、緑化、美化等の環境改善対策のためのコスト	0	40	0	40
環境損傷コスト	環境汚染の修復費用、環境損傷の保険料等	0	18	0	20
合計		133	1,575	248	1,586
		1,709 1,834			334

#### 8.2 経済効果(東海理化)

単位:百万円

0 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	,	
	2017年度	2018年度
リサイクル材売却額	1,193	1,296
省エネによる費用削減	96	80
廃棄物処理費用削減	0	2
合計	1,289	1,378

#### 8.3 物量効果(東海理化)

※前年度を基準とした低減実績を記載

0.0 10770011 (114021710)		
	2017年度	2018年度
省エネによる温室効果ガス低減 (t-CO2)	2,533	1,639
リサイクル材売却量 (t)	9,459	10,295
廃棄物処理量 (t)	-49	-31

#### ●環境会計の考え方

環境コストは、発生したときの支払ベースで把握・集計しています。したがって、設備投資は投資額として把握し、滅価償却費は計上していません。 環境以外の目的と併せて実施しているものについては、按分により計上しています。環境保全活動に伴う経済効果については、各年度に費用額を確実に把握できる3項目で集計しています。

# 9. 環境データ算出方法

#### 9.1 環境データの集計範囲

211 -46-20 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -				
地域			会社名	
	東海理化:1社			
	国内子会社:7社		東海理化エレテック、恵那東海理化、理化精機、エヌ・エス・ケイ、東海理化サービス、サン電材社、東海理化クリエイト	
		北米	TRAM (アメリカ)、TRMI (アメリカ)、TAC (アメリカ)、TRIN (アメリカ)、TRQSS (カナダ)	
東海理化グループ 28社	海外拠点:20 社	南米	TRBR (ブラジル)	
		東アジア	TRCT (中国)、TRCW (中国)、TRCF (中国)、RICA (台湾)	
		南アジア	TRMN (インド)	
		東南アジア	TRA (タイ)、TRT (タイ)、TSB (タイ)、TRP (フィリピン)、TRI (インドネシア)、TRSI (インドネシア)	
		ヨーロッパ	TRBE (ベルギー)、TRB (イギリス)、TRCZ (チェコ)	

#### 9.2 エネルギー使用量の熱量換算係数

- 1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
種類	算出根拠		
電力	3.6 (MJ/kWh) を使用		
燃料 「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づく係数を使用			

#### 9.3 CO2サプライチェーン排出量の算出方法

種類	算出根拠
算出方法	「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」に基づき算定

#### 9.4 温室効果ガス排出量の算出方法

7.1 温上が水がが開催の井口が広				
種類			算出根拠	
	算出方法		GHG プロトコルを使用して算定	
		電気	1990 年経団連係数を使用	
	東海理化	燃料	1990 年経団連係数を使用 但し、都市ガスは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく係数を使用	
係数		電気	「IEA CO <sub>2</sub> Emission from Fuel Combustion 2007」の2001 年係数を使用	
	東海理化グループ	燃料	「2006 年 IPCC ガイドライン」に基づく係数を使用 但し、都市ガス、蒸気は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく係数を使用	
	5 ガス		「IPCC 第 2 次評価報告書」に基づく係数を使用	

# 10.GRIスタンダード(2016) 環境項目対照表

※GRIスタンダードの項目に関連する情報を参考として記載しています。 GRIスタンダードへの準拠を示すものではありません。

	開示事項	東海理化レポート掲載箇所
GRI 301:原材料	ri.	
		P54「事業活動における投入資源と環境への排出」、
301-1	使用原材料の重量または体積	「エコデータファイル 2019 1.1 項」
301-2	使用したリサイクル材料	P47「リサイクルしやすい製品設計と技術開発の推進」、 「エコデータファイル 2019 1.3 項」
301-3	再利用された製品と梱包材	P47「梱包・包装資材使用量と原単位の推移」
GRI 302:エネル	ルギー	
302-1	組織内のエネルギー消費量	「エコデータファイル 2019 2.2 項」
302-2	組織外のエネルギー消費量	_
302-3	エネルギー原単位	「エコデータファイル 2019 2.3 項」
302-4	エネルギー消費量の削減	P38「低炭素社会の構築」、「エコデータファイル 2019 2.4 項」
302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	_
GRI 303:水と	<b>排水</b>	
303-1	共有資源としての水との相互作用	P49「生産拠点における水リスク評価結果」
303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	P49 「生産拠点における水リスク評価結果」、「エコデータファイル 2019 6.2 項
303-3	取水	「エコデータファイル 2019 3.1 項」
303-4	排水	「エコデータファイル 2019 6.1 項」
303-5	水消費	「エコデータファイル 2019 3.2 項」
	1 - 100	
GRI 304:生物:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、 もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	該当なし
304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	該当なし
304-3	生息地の保護・復元	P46「環境保全・生物多様性保全の推進」
304-4	事業の影響を受ける地域に生息する IUCN レッドリストならびに 国内保全種リスト対象の生物種	該当なし
GRI 305:大気	への様出	
305-1	<u> </u>	D20 [CO - 世山景と原営佐の推移」 [エコデ カフラノ   2010 5.1 頂」
	直接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ1)	P39「CO₂ 排出量と原単位の推移」、「エコデータファイル 2019 5.1 項」 P39「CO₂ 排出量と原単位の推移」、「エコデータファイル 2019 5.1 項」
305-2 305-3	間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ2)	
	その他の間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ3)	P39「CO2 排出量と原単位の推移」、「エコデータファイル 2019 5.1 項」
305-4	温室効果ガス (GHG) 排出原単位 温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	P39 「CO₂ 排出量と原単位の推移」、「エコデータファイル 2019 5.3 項」 P39 「CO₂ 排出量と原単位の推移」、P43 「SF₀ の排出量低減取組み」、
305-6	オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	「エコデータファイル 2019 8.3 項」 該当なし
305-0	空素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	「エコデータファイル 2019 5.6 項」
SDI 204 - HILL	1. Le 8 rés 2016	
GRI 306:排水		1.6.
306-1	排水の水質および排出先	「エコデータファイル 2019 6.2 項」
306-2	種類別および処分方法別の廃棄物	「エコデータファイル 2019 6.3 項」
306-3	重大な漏出	該当なし
306-4	有害廃棄物の輸送	該当なし
306-5	排水や表面流水によって影響を受ける水域	該当なし
GRI 307:環境	コンプライアンス	
307-1	環境法規制の違反	P51「環境リスクマネジメント」、「エコデータファイル 2019 7.1 項」
GRI 308:サプ	ライヤーの環境面のアセスメント	
		=+\(\lambda_{++}\)
308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	該当なし

# 東海理化

**発 行**/2019年7月

発行 部署/株式会社東海理化施設環境部

問い合わせ先/〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地

TEL (0587) 95–9002 FAX (0587) 95–1261 URL http://www.tokai-rika.co.jp/

#### データファイル掲載数値について

1.データファイルを発行するにあたり、過去のデータを再検証いたしました。 その結果、過去に発行した環境報告書のデータと一部異なる数値があります。 2.掲載の数値は計算処理の都合上、個々に足した値と合計が異なる場合があります。